

地域活動支援センター 農（あぐり）

(NPO 法人 のらんど)



1 施設の概要

定員	地域活動支援センター 10人
所在地	さいたま市緑区大間木 716 三上ビル 101 https://nolandinuma.wixsite.com/mysit 
アクセス	JR 京浜東北線 浦和駅バス 20 分 JR 武蔵野線 東浦和駅バス 10 分
連絡先	TEL : 048-826-5770 FAX : 048-826-5770 e-mail : zwr02003@nifty.ne.jp
開設日	平成 25 年 4 月 1 日

開所日時	月曜日～金曜日 9:00～15:30
平均年齢	平均：43 歳 最年少：20 歳 最年長：67 歳
送迎範囲	東浦和駅まで
食事提供	なし
入浴	なし
車いす	なし
医療的ケア	なし
その他設備	エレベーター なし ユニバーサルシート (大人用ベッド) なし

2 施設の運営方針・理念



農（あぐり）はその文字のように「農業」を中心に仕事をするところです。
さいたま市は大きな町になりましたが、緑の場所・農地（畑や田んぼ）が
たくさん残っています。野菜は畑を耕して作られます。住んでいるところから
近いところで作られた野菜はとりたてで、私たちのところへ届きます。

私たちはとれたてのおいしい野菜を食べることができます。

私たちも農園で野菜を作っていますが、もっともっと広いはたけで野菜をつくっているさいたま市の農家さんたちの作った野菜を売ったり、仕事を手伝ったりもします。

野菜を作るということは自然の力を知ることでもあります。植えた種から芽が出ない、虫にたべられてしまう、雑草が抜いても抜いても生えてくる、思い通りに野菜は育ってくれません。それでも毎日農園で仕事をします。

そして農園の中で、街の中でたくさんのひとたちと出会うことをめざしています。

わたしたちといっしょにまちと畑をつなぐ仕事をしませんか。

3 事業内容の紹介

農（あぐり）では、四季の移り変わりを感^{かん}じながら、畑^{はたけ}での野菜^{やさい}作り^{つく}りや作った野菜^{やさい}の販売^{はんばい}・加工^{かこう}、また、近く^{ちかく}の農家^{のうか}から委託^{いたく}された仕事^{しごと}をしています。畑^{はたけ}では季節^{きせつ}ごとにいろいろな野菜^{やさい}を栽培^{さいばい}しています。作業^{さぎょう}は、たい肥^{ひい}入れ、耕^{こう}うん、種^{たね}まき、苗^{なえ}の植^うえ付け、水^{みず}やり、収穫^{しゅうかく}、野菜^{やさい}をきれいにして袋^{ふくろ}詰めすることなど、さまざまです。



畑^{はたけ}作業^{さぎょう}をしたことがない人^{ひと}でも心配^{しんぱい}することはなく、必ず^{かなら}できることがあります。経験^{けいけん}豊富なやさしい先輩^{せんぱい}たちがいるので、心配^{しんぱい}はいりません。農（あぐり）の人^{ひと}たちも、まったく畑^{はたけ}作業^{さぎょう}をしたことがないという人^{ひと}がほとんどでしたが、今^{いま}では頼^{たの}もしい存在^{そんざい}となっています。

販売^{はんばい}は、月曜日^{げつようび}にはお得意先^{とくいき}へパック野菜^{やさい}の配達^{はいたつ}と引き売り^{ひきうり}、水曜日^{すいようび}と金曜日^{きんようび}には北浦^{きたうらわ}和の商店街^{しょうてんがい}にあるお店^{みせ}で販売^{はんばい}、他^{ほか}にも区役所^{くやくしょ}にあるピアショップ^{しゅってん}に出店^{しゅってん}しています。それぞれの販売^{はんばい}先^{さき}では常連^{じょうれん}さんができるほどです。また、販売^{はんばい}する際に必要^{ひつよう}な接客^{せつきやく}技術^{ぎじゆつ}やマナーも、実^{じつ}際^{さい}の場^ばで役立つ^{やくだ}ように勉強^{べんきぎょう}をしています。そのほかにレストラン^{やさい}などに野菜^{やさい}の納品^{のうひん}しています。冬^{ふゆ}はネギ^{ねぎ}を卸^{おろ}しています。



季節^{きせつ}によってさまざまな仕事^{しごと}をたの^{たの}しめるのも農（あぐり）だからできることです。

4 事業の紹介写真

～農（あぐり）作業風景～



収穫^{しゅうかく}する野菜^{やさい}を作^{つく}ります。
種^{たね}を播^まくため、草^{くさ}取りをしま
す。取^とった草^{くさ}を一輪車^{いちりんしゃ}に乗^のせ
て、たい肥^{ひい}置き場^{おきば}へもつてい
きます。その後^{あと}に、耕運機^{こううんき}を
か^はたけ 畑^{はたけ}を耕^{たがや}します。



季節^{きせつ}の野菜^{やさい}の種^{たね}をまいたり、
苗^{なえ}を植^うえたりします。



はんばいよう やさい しゅうかく ちから きぎょう
販売用に野菜の収穫もします。力がある作業もありますが、みんなで分担してやっています。

はたけ やさい せいちょう
畑の野菜の成長のじやまにならないように、草取りをしたりします。これは、とても大切な仕事です。



ふゆ
冬にやることが多いですが、販売などに出せるようにネギの皮むきをします。

まいとし がつげじゅんころ かわ
毎年11月下旬頃からクワイの皮むきをします。これは、近くの農家さんから仕事を受けています。

かこうひん きりぼし
加工品として、切干大根を作ります。



やつがしら くき だいこん
ずいき(八頭の茎)や大根などの季節には、乾燥させて、袋詰めをします。



げつ すい きんようび はんばい
月・水・金曜日は販売をしています。販売場所はそれぞれ違います。
※これは水曜日の販売の様子です。

5 施設の年間の行事



4月：お花見
 (見沼たんぼ福祉農園)
 農園の桜はきれいです。



5月の第3週 水・木：かっぱフェスタ
 (埼玉県庁みどりの広場) に出店
 埼玉県内の施設が集まり販売します。



8月：暑気払い
 夏休みに入る前に、みんな
 なで納会です。



9月下旬：運動会
 (岩槻文化公園)
 さいたま市ふれあいスポーツ大会に参加します。パン食い競争やリレー、おたまこ大玉転がしなどに出場します。

※今年度は新型コロナの影響で開催できませんでした。



研修旅行：時期は未定
 毎日の作業に役立つことを学んだり、おいしいものを食べたりします。

※今年度は新型コロナの影響で実施していません。



12月下旬：クリスマス会
 料理を作ったり、ゲームをしたりして楽しみます。また、近くのファミレスで自分の好きなスイーツを食べに行きます。



調理：随時
 近くの公民館を利用して農園の野菜を使って調理します。

6 施設の自慢・特色



とても広い畑で仕事ができます。畑に来た人は、その広さに驚きます。

農園の中には、桜の木が何本かあり、春になるときれいに咲きます。



ネギは大宮市場に出荷したり、販売に出したりしています。

毎年、自分たちの作ったネギを販売に出せるように手作業で出荷作業をします。



作った野菜を自分たちで調理して食べることができます。野菜を売るには、売っている人たちがどんな味にするのか知っていないと、すすめられません。



近くの農家の人たちとのつながりも大切にしています。農家さんの野菜を仕入れて販売したり、仕事を手伝ったり、技術を教わったりもします。

農（あぐり）の活動にはたくさんのボランティアの人たちが関わってくれています。いろいろな人たちとあえるのも楽しみのひとつです。